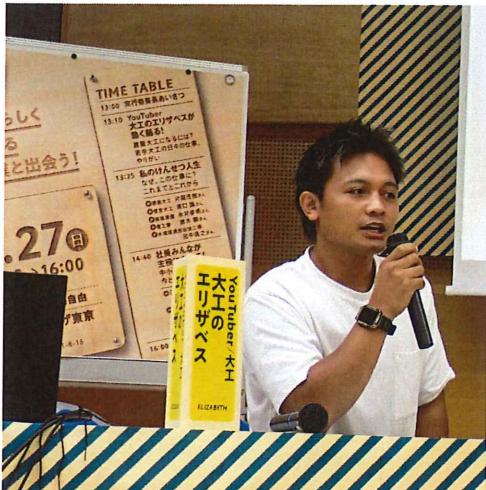


第19期生 小番ジョンさん 大工のやりがいと未来を語る

東京土建主催「けんせつのしごとフェスタ」



「大工のエリザバス」のYouTubeチャンネル登録者数は1万7000人、TikTokのフォロワーは3万6500人もいます。当日は遠方から駆け付けたファンの姿も見られました。

東京建築カレッジ（以下、カレッジ）は、母体の東京土建一般労働組合（中村隆幸委員長）が8月27日に開いた「けんせつのしごとフェスタ」に参加しました。東京土建無料人材紹介所と東京建築カレッジ無料職業紹介所が共同で行つた、建設業への入職促進をめざす職業紹介イベントで、就職活動中の高校生や大学生を含めて約50人が参加しました。

冒頭、ユーチューバー「大工のエリザバス」として活動する第19期生小番（こつがい）ジョンさん（28）がインターネットを駆使した大工ビジネスの可能性を語りました。小番（こつがい）ジョンさんは、その後見習い大工になり、同時にカレッジに入学して建築の基礎知識と技術を学びました。カレッジ卒業後、数年が経ち一人親方として独立。その頃から自分の家族を幸せにするためにももっと収入を増やす強い思うようになります。

来春入学生募集中！

10月15日（日）オープンキャンパス

毎週金・土の授業見学も随時受付

東京建築カレッジは来春入学の第29期生を募集注です。10月15日（日）には卒業生講師が教育内容を分かりやすく説明するオープンキャンパス（学校説明会）を江東実習場で開催します。午前の部は9時30分から。午後の部は1時30分から。

建築カレッジに入りたい方でカレッジに通える就職先紹介を希望される方には「東京建築カレッジ無料職業紹介所」の登録事業所を紹介します。

くわしくは、東京建築カレッジ公式サイトをご覧ください。下のQRコードから。

お問い合わせはお気軽

にどうぞ。

TEL03-5950-1771

東京土建技術研修センター
内 建築カレッジ係



カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！
TEL 03
(5950)
1771



聞き手は大工の大先輩、後藤英雄さん。大工の未来像を世代を超えて明るく語り合いました

開始。ネットの世界で存在感を上げて仕事を創造するスタイルを確立しました。

は今生きています」と、新人時代に基礎を身に付けることの重要性も強調しました。

小番さんがもう一つ強調したのは、大工の仕事を狭くとらえずに「大工+α」で生きる姿勢。

そこで独学でビジネスを学び、これからはインターネットを活用して自分の存在や仕事内容を伝え、仕事を自ら取つていくしかない、という答えに行きつき、「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上で『大工のエリザバス』活動を

「技術の向上も現場での試行錯誤が一番重要」と言います。

「リフォームで手刻みがきちんとできる人は貴重なので、けつして優等生ではなかつたけれど、東京建築カレッジで大工技術の基本を学んだこと

このイベントの「私の人生」コーナーでは、片岡茂樹教務運営委員、建築測量担当の永井孝明講師、研修生派遣事業主の坂口誠さんが出

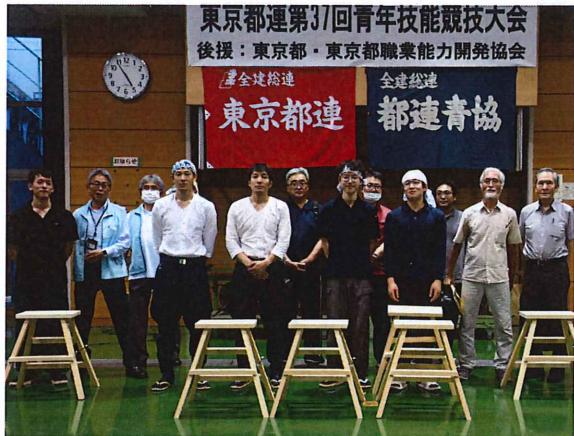
演。地域密着の中小企業で働く魅力を訴求する相羽健太郎さん（相羽建設）と小笠原健悦さん（しんせん）の対談も行われました。

ネットと「大工+アルファ」で生きる

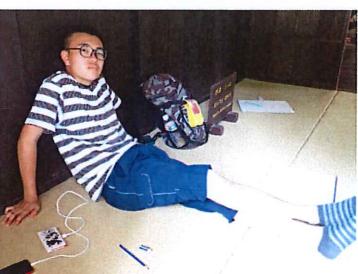
8月20日に行われた「全建総連東京都連第37回青年技能競技大会」(出場選手数12人)で、本校第23期生の関根祥智さんが2位・銀賞に輝きました(=写真前列左から2人目)。第20期生の小林貴志さんは4位、第27期生の岩本将希さんは5位でした。第27期生からは川村禪さん、山下公己さんも出場し奮闘しました。関根さんは9月16日から3日間、埼玉県熊谷市で開催する「全建総連第39回全国青年技能競技大会」に東京代表選手の1人として出場します。

青年技能競技大会の課題は10分の3勾配の「四方転び踏み台」。現寸図も含めて採点の対象。正確さと美しさの両方を競い合います。

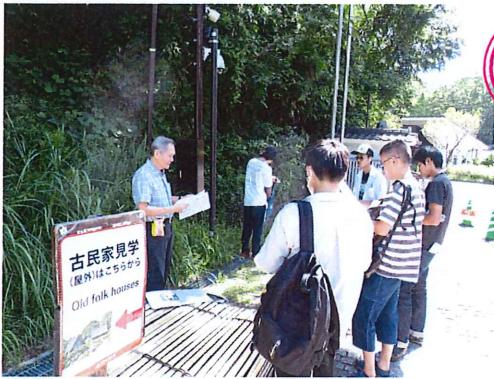
第23期生 関根祥智さんが銀賞 全国青年技能競技大会・東京予選



それだけに、建物の外部と内部の気温の差を強く感じることができました。建物はどのように暑さを感じてもらおうとしために、修生たちが先人の知恵と技術を体感してもらいました。感じたままに書かれていたり、日報を提出するなど、狙いを理解しているのか、

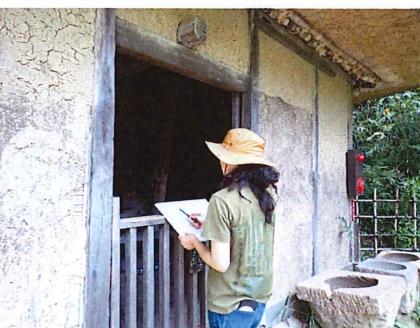


畠の快適性に気付き、寛ぐ



出発前に班ごとにオリエンテーションを受け研修生たち。長谷部浩講師作成の見学の手引きが渡され、「同じ茅葺き屋根でも園内では4種類の形が見られる」と見所の解説を受けました=上写真。

第28期生(1年生)は8月31日(木)、「川崎市立日本民家園」の見学に出かけました(2人欠席、21人参加)。日本民家園は古民家の野外博物館。江戸時代の民家など25の文化財建造物を移築・展示している施設です。東京建築カレッジ



水車の仕掛けのスケッチに挑戦

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

午後は各自が注目した民家のスケッチをします。一点透視

の実技実習授業は、規矩(きく)術演習が本格的に始まりました。朝顔箱、風呂イス、四方転び踏み台、化粧棒隅木の順で全員が伝統的な大工技術の課題に挑戦します。「昔の大工さんってこんなに難しい技を身に付けていたのか」という声も聞かれます。「正確に」「美しく」を合言葉に課題との闘闘が続ります。

1年生の授業から

夏の暑さをしのぐ先人の工夫を学ぶ 「川崎市立日本民家園」見学

では、その地域の気候風土に対応して作られています。古民家を見学を授業に組み入れています。

もうたために、毎年、見学を授業に組み入れています。古民家

では、その地域の気候風土に対応して作られています。その一部を紹介します。

「外は暑いが家の中はわりと涼しかつたのです」。

「外は暑いが家の中はわりと涼しかつたのです」。

「外は暑いが家の中はわりと涼しかつたのです」。

「外は暑いが家の中はわりと涼しかつたのです」。

「外は暑いが家の中はわりと涼しかつたのです」。

規矩術演習 本格スタート

2年生の授業から



伝統的な大工技術の技法を丁寧に教わります(池袋校舎地下)